

◆ 死亡野鳥等調査の検査優先種

検査優先種 1 (18 種)	
カモ目カモ科	カイツブリ目カイツブリ科
ヒシクイ	カイツブリ
マガン	カンムリカイツブリ
シジュウカラガン	ツル目ツル科
コクチョウ	マナヅル
コブハクチョウ	ナベヅル
コハクチョウ	チドリ目カモメ科
オオハクチョウ	ユリカモメ
オシドリ	タカ目タカ科
ヒドリガモ	オオタカ
キンクロハジロ	ノスリ
	ハヤブサ目ハヤブサ科
重度の神経症状が観察された水鳥類	ハヤブサ
検査優先種 2 (9 種)	
カモ目カモ科	タカ目タカ科
マガモ	オジロワシ
オナガガモ	オオワシ
トモエガモ	クマタカ
ホシハジロ	フクロウ目フクロウ科
スズガモ	フクロウ
検査優先種 3	
カモ目カモ科	チドリ目カモメ科
カルガモ、コガモ等 (検査優先種 1、2 以外全種)	ウミネコ、セグロカモメ等 (検査優先種 1、2 以外全種)
カイツブリ目カイツブリ科	タカ目ミサゴ科
ハジロカイツブリ等 (検査優先種 1、2 以外全種)	ミサゴ
カツオドリ目ウ科	タカ目タカ科
カワウ	トビ等 (検査優先種 1、2 以外全種)
ペリカン目サギ科	フクロウ目フクロウ科
アオサギ	コミミズク等 (検査優先種 1、2 以外全種)
ツル目ツル科	ハヤブサ目ハヤブサ科
タンチョウ等 (検査優先種 1 以外全種)	チョウゲンボウ等 (検査優先種 1、2 以外全種)
ツル目クイナ科	
オオバン	
その他の種	
上記以外の鳥種すべて	

(R3.10.更新 環境省)



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ヒシクイ (*Anser fabalis*)

【特徴】嘴は黒く先に橙味を帯び、先端は黒。頭部から上面、胸、脇は暗褐色で、腹から体下面、上尾筒、下尾筒は白。足はオレンジ。

【分布】冬鳥として局地的に渡来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●マガン (*Anser albifrons*)

【特徴】嘴はピンク。まれにオレンジ。嘴基部周辺が白い。足はオレンジ。全身が黒褐色。下面はやや淡い。腹に黒斑。

【分布】北海道を通過して本州で越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●シジュウカラガン (*Branta hutchinsii*)

【特徴】頭から頸は黒く、頬から喉に白斑がある。胸、腹は灰褐色。下腹、下尾筒は白い。足は黒色。

【分布】宮城県に定期渡来。少数が越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コクチョウ (*Cygnus atratus*)

【特徴】全身は黒い。細長い頸。嘴は赤く先端に白い斑がある。足は黒い。

【分布】元は飼われていたものが各地で野生化。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コブハクチョウ (*Cygnus olor*)

【特徴】全身は白い。細長い頸。嘴はオレンジ。基部には黒いこぶがある。足は黒い。

【分布】元は飼われていたものが各地で野生化。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コハクチョウ (*Cygnus columbianus*)

【特徴】全身は白い。オオハクチョウに比べて短めの頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。オオハクチョウよりも黄色の面積が狭い。足は黒い。

【分布】主に北海道・本州で越冬。



撮影：(一財) 自然環境研究センター



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オオハクチョウ (*Cygnus cygnus*)

【特徴】全身は白い。細長い頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。コハクチョウよりも黄色の面積が広い。足は黒い。

【分布】関東以北で越冬。

●オシドリ (*Aix galericulata*)

【特徴】嘴は紅色で先端は白。顔は白く、頸には栗色の筋状の羽。脇は黄褐色で、三列風切羽には特徴的な銀杏羽。

【分布】主に本州中部地方以北で繁殖し、冬は西日本で越冬するものが多い。



撮影：(一財) 自然環境研究センター



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ヒドリガモ (*Anas penelope*)

【特徴】頭部は茶褐色で、額から頭頂がクリーム色。背面と脇は灰色で、黒い細斑がある。

【分布】冬鳥として、全国に渡来。

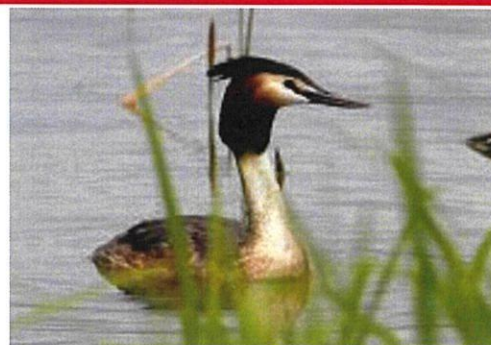
●キンクロハジロ (*Aythya fuligula*)

【特徴】嘴は青灰色で先端は黒い。虹彩は黄色。頭は紫色光沢があり、後頭に房状の冠羽。

【分布】主に冬鳥。全国で越冬。



撮影：(一財) 自然環境研究センター



撮影：環境省

●カイツブリ (*Tachybaptus ruficollis*)

【特徴】太くて黒い嘴、基部は黄白色。尾は非常に短く体は丸い。全体は黒褐色で、頭から頸にかけて赤褐色。

【分布】北海道から南西諸島まで広く繁殖。北日本では夏鳥、それ以南では留鳥。

●カンムリカイツブリ (*Podiceps cristatus*)

【特徴】嘴はピンク色。頭上は冠羽。頬に赤褐色と黒色の扇状に広がる飾り羽。(写真は夏羽)

【分布】青森県と琵琶湖で繁殖が記録されているが、ほとんどは冬鳥として九州以北に渡来する。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●マナヅル (*Grus vipio*)

【特徴】眼の周囲の皮膚が赤く露出している。頭頂から後頸にかけて白く、頸から胸、腹、下尾筒までと背は灰白色。足は淡紅色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方に渡来。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ナベヅル (*Grus monacha*)

【特徴】嘴は黄色みを帯びる。額が黒く、眼の上は赤色。頭部から頸は白く、その他の部分は灰黒色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方と山口県周南市に渡来する。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ユリカモメ (*Larus ridibundus*)

【特徴】細くて暗赤色の嘴。足は赤い。全身は淡い青灰色。夏羽の頭部は褐色味の黒。

【分布】ほぼ全国に冬鳥として飛来。

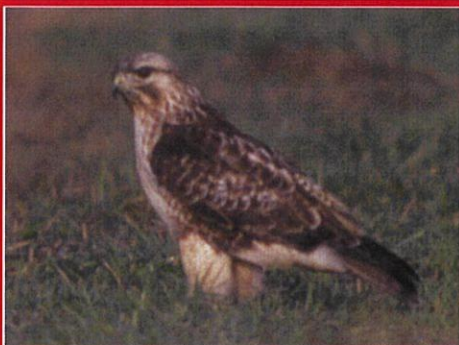


撮影：環境省

●オオタカ (*Accipiter gentilis*)

【特徴】嘴基部と足は黄色。虹彩はオレンジ色または黄色。上面は暗青灰色、下面は白く黒褐色の横斑がある。白色の眉斑が目立つ。

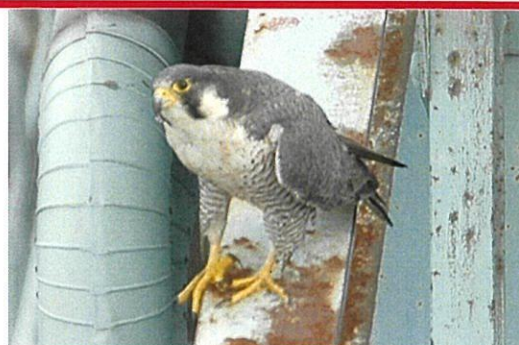
【分布】留鳥としてほぼ全国で繁殖するが、南西諸島ではまれな冬鳥。



撮影：小林 靖英



撮影：(一財) 自然環境研究センター



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●ノスリ (*Buteo buteo*)

【特徴】嘴は黒褐色で太い顎線がある。上面は褐色味が強く下腹に褐色斑がある。飛翔時、翼角の暗黒色斑が目立つ。

【分布】主に留鳥として本州中部以北で繁殖。四国・九州以南では冬鳥として飛来。

●ハヤブサ (*Falco peregrinus*)

【特徴】上面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の横斑がある。頬に目立つひげ状の黒斑がある。

【分布】留鳥として九州以北で繁殖するほか、全国に冬鳥として飛来。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

● マガモ (*Anas platyrhynchos*)

【特徴】 嘴は黄色。足は濃いオレンジ色。頭は暗緑色。頸に細い白の輪。胸は茶色。

【分布】 冬鳥として全国に渡来する。北海道などでは少数が繁殖。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

● オナガガモ (*Anas acuta*)

【特徴】 嘴は黒く。両側は青灰色。頭部から後頸にかけてチョコレート色。頸と胸は白い。尾羽は黒色で細長い。

【分布】 全国的に冬鳥として飛来。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

● トモエガモ (*Anas formosa*)

【特徴】 顔の様子が特徴的で、黄白色、緑、黒の三色の巴形をしている。胸は赤紫褐色で脇は青灰色。

【分布】 冬鳥として本州以南の日本海側に多く渡来する。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

● ホシハジロ (*Aythya ferina*)

【特徴】 嘴は黒く、中ほどは鉛色。足は鉛色。頭から頸は赤茶色。上・下面とも灰色で、細かい黒い波状の斑がある。胸と尻は黒。

【分布】 主に冬鳥。全国に飛来。

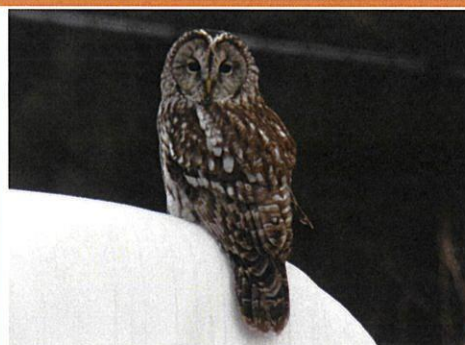


撮影：(一財) 自然環境研究センター

● スズガモ (*Aythya marila*)

【特徴】 オス成鳥の頭部は緑や紫の光沢色。胸と上・下尾筒は黒い。背は白いが細かく黒い波状斑がある。脇と腹は白色。

【分布】 全国的に冬鳥として飛来。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

● フクロウ (*Strix uralensis*)

【特徴】 頭部から背は灰褐色で、褐色の縦斑が密にある。胸から体下面は淡灰褐色で褐色の縦斑がある。顔にはハート型の縁取りがある。羽角はない。

【分布】 留鳥として九州以北に分布。



撮影：小林 靖英

●オジロワシ (*Haliaeetus albicilla*)

【特徴】全体的に褐色味を帯び、体の下方になるほど体色が濃い。尾は短く白色。嘴と足は淡黄色。

【分布】日本では北海道の北・東部で少数が繁殖するが、多くは冬鳥として北日本に飛来。

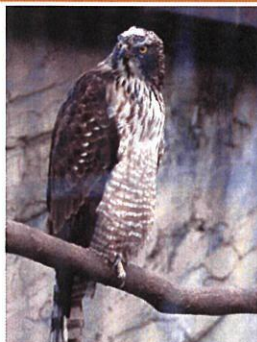


撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オオワシ (*Haliaeetus pelagicus*)

【特徴】体は全体的に黒褐色だが、額、翼前縁、腰、尾、上・下尾筒が白色。嘴は大きく橙黄色。

【分布】日本へは冬鳥として主に北日本に渡来する。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●クマタカ (*Nisaetus nipalensis*)

【特徴】後頭に冠羽がある。胸は白く、黒褐色の縦斑がある。飛翔時に翼の幅が広く見える。

【分布】九州以北で留鳥。



撮影：千葉県環境生活部自然保護課



オス 撮影：杉本 卓翔



撮影：
NPO 法人徳野鳥観察舎友の会

メス 撮影：千葉県環境生活部自然保護課

●カルガモ (*Anas poecilorhyncha*)

【特徴】雌雄同色。くちばしは黒く先端が黄色。
翼鏡は青紫。

【分布】留鳥としてほぼ全国に分布。

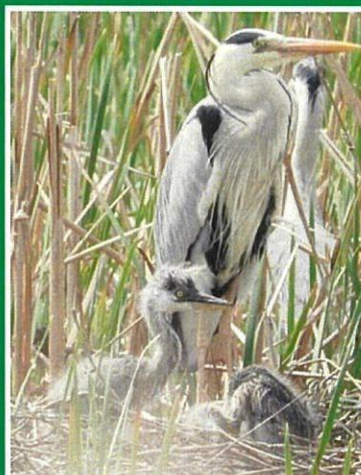
●コガモ (*Anas crecca*)

【特徴】翼鏡は緑。雄は頭部が栗色で目の周りが緑色。
雌のくちばしは黒く、基部がわずかに黄色。

【分布】冬鳥として全国に渡来。



撮影：千葉県環境生活部自然保護課



撮影：NPO 法人徳野鳥観察舎友の会

●カワウ (*Phalacrocorax carbo*)

【特徴】くちばしは灰褐色で基部が黄色、先端はカギ状。
全身光沢のある黒で頬から喉は白い。

【分布】関東では留鳥

●アオサギ (*Ardea cinerea*)

【特徴】全身は灰色。頭部は白く目の後方から冠羽へと
黒い帯がある。くちばしは黄色(繁殖期は桃色)

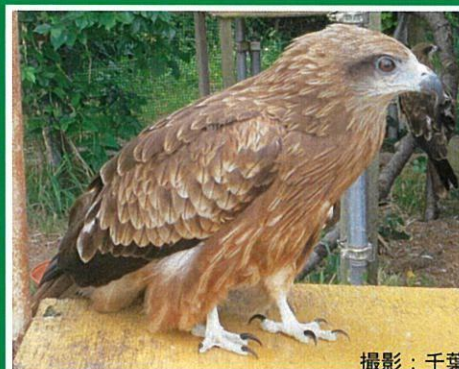
【分布】本州と四国では留鳥または漂鳥。



撮影：
NPO 法人徳野鳥観察舎友の会



撮影：千葉県環境生活部自然保護課



撮影：千葉県環境生活部自然保護課

●ウミネコ (*Larus crassirostris*)

【特徴】くちばしは黄色く先端は赤と黒。

【分布】留鳥または漂鳥としてほぼ全国に分布。

●トビ (*Milvus migrans*)

【特徴】上面の羽先は白っぽい。体下面に縦班。

【分布】留鳥として全国に分布。



撮影：(一財) 自然環境研究センター

●オオバン (*Fulica atra*)

【特徴】 嘴と額は白い。全身黒色。

【分布】 ほぼ全国で繁殖し、本州以南で越冬。